



第58回 定時株主総会

2021年6月24日

株式会社 キムラタン

2020年度 事業の経過及び成果

2020年度事業戦略

コロナ禍の景気悪化に耐えうるコンパクトに力強い企業への変革

損益分岐点の 大幅引下げ

- ・ 不採算店舗の閉鎖
- ・ 経費削減
- ・ 粗利率の改善

キャッシュ・フロー の改善

- ・ 秋物以降の生産調整
- ・ 在庫の適正配置
- ・ 消化率向上・在庫削減

店舗とECの融合

- ・ 不採算店舗閉鎖と好立地への出店
- ・ ECサイトリニューアル
- ・ 会員統合と在庫の一元化

2020年度業績概要① 売上高

単位：百万円

2019年度

2020年度

売上高

4,916

4,708

売上総利益

2,376

2,169

売上
総利益率

48.3%

46.1%

販管費

2,833

2,607

営業利益

△ 457

△ 437

変動要因

全社 前期比 △4.2%

アパレル事業 前期比 △7.3%

店舗売上減収するがECは大幅増

その他事業 前期比 約3倍

保育園5園体制、ウェアラブル
運用・不動産事業開始

2020年度業績概要② 売上総利益

単位：百万円	2019年度	2020年度
売上高	4,916	4,708
売上総利益	2,376	2,169
売上総利益率	48.3%	46.1%
販管費	2,833	2,607
営業利益	△ 457	△ 437

変動要因

全社	前期比 △ 2.2 pt
保育園事業の構成比増による	
アパレル事業	前期比 + 0.5 pt
上期	前期比 △ 2.2 pt
春物値引販売拡大が影響	
下期	前期比 + 2.6 pt
原価低減効果により改善	

2020年度業績概要③ 販管費

単位：百万円	2019年度	2020年度
売上高	4,916	4,708
売上総利益	2,376	2,169
売上 総利益率	48.3%	46.1%
販管費	2,833	2,607
営業利益	△ 457	△ 437

変動要因

全社 前期比 △**8.0**pt

減少

店舗休業・時短の影響

不採算店舗閉鎖

諸経費削減

増加

ECの売上伸長に伴う物流費等

ウェアラブル事業経費

2020年度業績概要④ 営業外・特別損益

単位：百万円	2019年度	2020年度
営業損失	△457	△437
営業外損益	△22	+3
経常損失	△479	△434
特別損益	△93	+24
当期純利益	△580	△416

変動要因

営業損失	+19百万円
経常損失	+45百万円
雇用調整助成金	45百万円
店舗休業中の固定費	7百万円
当期純損失	+164百万円
中西不動産売却益	32百万円
前期減損損失	89百万円

2020年度業態別の売上高と概況 ①

単位：百万円	2019 年度	2020 年度	前期比	概況
Baby Plaza	1,960	1,729	△11.8	既存店売上前期比 △ 9.5%
Bobson	579	479	△17.2	既存店売上前期比 △ 9.8%
テナント	314	199	△36.5	既存店売上前期比 △ 20.5%

2020年度業態別の売上高と概況 ②

単位：百万円	2019 年度	2020 年度	前期比	概況
ネット通販	860	1,056	+22.8	送料無料キャンペーン 自社サイトの全面リニューアル
卸・海外	1,135	1,027	△9.5	GMS向けは減少するが 量販専門店向けは堅調に推移
その他事業	66	213	約3倍	4園運営により保育園事業が増収 ウェアラブル・不動産事業開始

2020年度連結バランシート

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
総資産	2,805	3,470	664
流動資産	2,548	2,605	57
現金・預金	266	505	239
受取手形・売掛金	606	574	△31
商品及び製品	1,514	1,342	△171
固定資産	257	864	607
負債	2,017	2,467	449
買掛金	377	280	△96
借入金	1,348	1,787	438
純資産	787	1,002	214

変動要因

現金・預金

在庫削減によりCF改善

商品及び製品

仕入抑制により削減

固定資産

収益物件の取得と資産売却

借入金

運転資金と不動産取得資金

2020年度 決算総括

売上高

全社 前期比 $\Delta 4.2\%$ アパレル事業 前期比 $\Delta 7.3\%$

売上総利益

アパレル事業粗利益率 上期 $\Delta 2.2\text{pt}$ 下期 $+2.6\text{pt}$

営業損失

全社 **19**百万円改善 アパレル事業 **42**百万円改善

当期純損失

全社 **1億64**百万円改善

たな卸資産

商品及び製品 **1億71**百万円削減 営業CF **1億27**百万円改善

事業報告、連結計算書類等

事業報告

設備投資の状況～会計監査人の状況

5～11ページ

連結計算書類

12～13ページ

計算書類

14～15ページ

2021年度 事業計画の概要

2021年度事業計画の概要

強い収益基盤を構築し単年度黒字化を目指す

店舗運営効率化
デジタル強化

粗利率の
向上

自社物流
経費率の低減

単年度黒字化の実現



新規事業による安定収益確保

運営効率化とデジタル強化

新規顧客獲得と顧客との関係強化を図る

店舗

業態区分見直し立地に応じたブランド最適化と運営効率化
百貨店 n.o.u.sショップの育成・確立

EC

オフィシャルサイトリニューアル、デジタル・マーケティング強化
新規顧客の獲得と既存顧客との関係強化

卸

堅調な量販専門店との取り組み強化
ブランド展開、アイテム拡充等による取引深耕

粗利率の向上

原価低減効果と値下げ率の抑制により粗利率のさらなる向上を目指す

製造原価率の低減

- ・ 生産拠点シフトの効果
- ・ ASIA諸国に拠点拡大



プロパー販売比率向上

- ・ 商品企画の精度向上
- ・ 定番・雑貨販売比率拡大



値下げ率の抑制

- ・ マークダウンの精度向上
- ・ 最終値下げの見直し



消化率の向上

- ・ ディストリビューション強化
- ・ 在庫一元化

物流内製化による効率化

物流の内製化を軸に効率化と消化率の向上、サービス向上を図る

経費率
低減

最新機器活用し
EC物流効率化

在庫
一元化

店舗とECの
在庫連携強化

サービス
向上

取り寄せ・客注
等のサービス向上

グループ
効率化

子会社物流の
一部を統合

新規事業による安定収益の確保

景気・気候変動に左右されない安定収益の確保

保育園

「らくらく保育」等の独自サービスの全園展開
幼児教育等のサービスの拡充

ウェアラブル

導入園の拡大とアパレル事業とのシナジー

不動産

収益物件による安定収益の確保

2021年度事業計画 目標

単位：百万円	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	4,042	4,916	4,708	4,750
売上総利益	1,970	2,376	2,169	2,420
販売費・ 一般管理費	2,592	2,833	2,607	2,400
営業利益	△622	△457	△437	20
経常利益	△639	△479	△434	10
当期純利益	△654	△580	△416	5

(注) 2021年度の売上目標値は収益認識に関する会計基準適用後の金額です



KIMURATAN